

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	尾内 理紀夫		
居室	西9 - 737		

公開E-Mail	授業関連Webページ
onai@cs.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
コンピュータの動きを理解し, 使いこなせるようにする. 使用するソフトウェアは主としてUNIXを用いる.

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし.

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし.

<b>【教科書等】</b>
特になし

<b>【授業内容とその進め方】</b>
講義時間割の前半で, 以下の点についての講義と演習を行う. その後は, 2学期のC言語を用いる「基礎プログラミングおよび演習」を前倒しして行う.
1. ログイン, ログアウト---ログイン名, パスワードの概念の理解と, 設定
2. エディタによるファイルの作成
3. シェルとファイルシステム
4. 電子メールの受信と送信

5. ホームページの閲覧と作成
6. ネットワークコマンド
7. ウィンドウシステム
8. 文書の作成と印刷---TeXで自由に文書が作成できるようにする.
9. コンピュータを用いた問題解決
10. Cプログラムの構造, 計算と結果の表示
11. 基本データ型, 変数
12. 9~11に対応する演習
13. 基本的制御構造---繰返し
14. 基本的制御構造---場合分け
15. まとめ

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法 :

講義の出席回数 (30%), 提出されたレポートの内容 (70%) から評価する.

(b) 評価基準 :

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする.

(1) 講義の80%以上に出席し, 課されたレポート数の80%以上を提出していること.

(2) 与えられた課題の内容を理解して必要に応じてコンピュータ上で実行し, 結果に関する考察がきちんとなされていること.

【オフィスアワー : 授業相談】

適宜相談に応じるが, 事前に電子メール等で日時を決めること.

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

<b>【学生へのメッセージ】</b>
コンピュータを使いこなすことは、情報工学科の学生にとって必要不可欠である。これができないとその後の勉学、研究に差支えることを肝に命じて欲しい。

<b>【その他】</b>